



BOM for Windows Ver.8.0
代理監視接続チェックツール
ユーザーズマニュアル

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

第1章 はじめに

第2章 動作要件

1. 対応OS

2. その他の要件

第3章 使用前の準備

第4章 ツールの使用方法

1. はじめに

2. 代理監視元の確認

3. 代理監視先の確認

4. ツールの終了

第1章 はじめに

BOM for Windows Ver.8.0 SRなし～ SR1 (BOM 8.0) で代理監視を実行する際は、アカウントやポートなど事前に必要な設定の要件があります。これらの設定が正しく行われているかを確認するための補助ツールが「代理監視接続チェックツール」です。

本ドキュメントでは、この「代理監視接続チェックツール」の使用方法を記載しています。

- 代理監視の要件については、製品同梱の'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'や、以下のサポート技術情報を参照してください。

- [サポート情報番号 : 000188] 代理監視にてリモートコンピュータを監視する場合

<https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-8-0/p274>

- 本書に更新・訂正などが生じた際は、弊社ウェブサイト上で情報を公開しますので、あわせて参照してください。

第2章 動作要件

1. 対応OS

本ツールの動作対象OSは、BOM 8.0 のインストール要件に準じます。

詳細は'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。

2. その他の要件

本ツールを実行する際は、以下のPowerShellでスクリプトが実行できる必要があります。

- PowerShell 5.1 以降

第3章 使用前の準備

代理監視を使用する際の設定は、代理監視元（BOM 8.0がインストールされた環境）と代理監視先（監視対象）の双方で実施されていなければなりません。

そのため、本ツールは「代理監視元」と「代理監視先」の両方で実行してチェックするスクリプトから構成されており、使用前にはあらかじめそれぞれのコンピューター上に本ツールを保存しておく必要があります。

本ツールは BOM 8.0 インストールパッケージの以下の場所に格納されています。

[BOM インストールパッケージ]¥TOOLS¥代理監視接続チェックツール

この「代理監視接続チェックツール」フォルダーを配下のフォルダー・ファイルごと、そのまま「監視元」「監視先」のそれぞれのコンピューター上にコピーして使用してください。

また、本ツール単体をダウンロードなどで入手した場合は、展開したフォルダーを配下のフォルダー・ファイルごと、そのまま「代理監視元」「代理監視先」のそれぞれのコンピューター上にコピーして使用してください。

フォルダー構成は以下のとおりで、「リモート(監視先)」フォルダーや「ローカル(監視元)」フォルダーと、「common」フォルダーの位置関係が変更された場合、本ツールは正常に動作しません。

[代理監視接続チェックツール] フォルダー

- + [common] フォルダー
- + [リモート(監視先)] フォルダー
- + [ローカル(監視元)] フォルダー

第4章 ツールの使用方法

1. はじめに

実行結果は"OK"または"NG"で表示されますが、それぞれのチェック項目の意味や詳細については製品同梱の'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'や、以下のサポート技術情報を参照してください。

- [サポート情報番号：000188] 代理監視にてリモートコンピューターを監視する場合
<https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-8-0/p274>

2. 代理監視元の確認

1. 代理監視元（BOM 8.0がインストールされた環境）のコンピュータ上で、コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。
2. コマンドプロンプト上で、以下の場所に移動します。

```
[代理監視接続チェックツール保存先]¥代理監視接続チェックツール¥ローカル(監視元)
```

3. 以下のコマンドを実行します。

```
> start.bat
```

4. "account:"では監視に使用するアカウント情報を入力します。
 - ドメインアカウントの場合は"<ドメイン>¥<ユーザー名>"で指定してください。
5. "remote:"では代理監視先（監視対象）コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
6. 以下の点のチェックが実行され、結果が"OK"または"NG"で表示されます。
 - 本ツールが管理者権限で実行されているか（管理者権限でない場合のみ[NG]を表示）
 - 入力したユーザーが存在するか（存在しない場合のみ[NG]を表示）
 - 存在する場合、そのユーザーが"Administrators"グループに所属しているか
 - 存在する場合、そのユーザーが有効化されているか
 - ユーザーアカウント制御（UAC）が無効化されているか
 - "NT AUTHORITY¥LocalService"アカウントに対して以下のローカルセキュリティポリシーが設定されているか
 - プロセスレベルトークンの置き換え権限
 - プロセスのメモリクォータの増加
 - "NT AUTHORITY¥NetworkService"アカウントに対して以下のローカルセキュリティポリシーが設定されているか
 - プロセスレベルトークンの置き換え権限
 - プロセスのメモリクォータの増加
 - 代理監視先のホスト名は名前解決できるか（手順5で代理監視先をホスト名で指定した時のみ）
 - 代理監視先のTCP 445番ポートに接続できるか
 - 代理監視先のTCP 135番ポートに接続できるか

3. 代理監視先の確認

1. 代理監視先（監視対象）のコンピューター上で、コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。
2. コマンドプロンプト上で、以下の場所に移動します。

[代理監視接続チェックツール保存先]¥代理監視接続チェックツール¥リモート(監視先)

3. 以下のコマンドを実行します。

```
> start.bat
```

4. "account:"では監視に使用するアカウント情報を入力します。
 - ドメインアカウントの場合は"<ドメイン>¥<ユーザー名>"で指定してください。
5. 以下の点のチェックが実行され、結果が"OK"または"NG"で表示されます。
 - 本ツールが管理者権限で実行されているか（管理者権限でない場合のみ[NG]を表示）
 - 入力したユーザーが存在するか（存在しない場合のみ[NG]を表示）
 - 存在する場合、そのユーザーが"Administrators"グループに所属しているか
 - 存在する場合、そのユーザーが有効化されているか
 - ユーザーアカウント制御（UAC）が無効化されているか
 - Windows Defender Firewall（サービス名:mpssvc）が起動しているか [※1]
 - TCP 445番ポートのルールが有効か [※2]
 - TCP 135番ポートのルールが有効か [※2]
 - TCP動的ポート(TCP49152-65535)のルールが有効か [※2]
 - Remote Registryサービスが自動起動になっているか
 - Remote Registryサービスが開始されているか
 - セキュリティポリシーの「ネットワークアクセス:ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」が「クラシック」に設定されているか
 - 管理共有が有効化されているか

※1 起動しているかを確認し、起動していない場合はポートのルールに関する以下の確認をスキップします。

※2 本チェックではルールが存在することを確認していますが、接続が許可されているか、ブロックされているかは判定されません。代理監視を使用する際は接続が許可されている必要があります。

4. ツールの終了

実行後はコマンドプロンプトを閉じることで終了できます。

またツールが必要ない場合は、「代理監視接続チェックツール」フォルダーごと削除してください。

BOM for Windows Ver.8.0 代理監視接続チェックツールユーザーズマニュアル

2024年1月22日 初版

著者・発行者・発行

セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.10.0

(C) 2024 SAY Technologies, Inc.